

あふれる田舎の底チカラ
Chu-San-Kan
中山間フェア
in い〜なん

2016.10.22 土 9:30 - 15:00
ところ：島根県中山間地域研究センター

主催：島根県中山間地域研究センター 協力：飯南町
お問合せ 島根県中山間地域研究センター
島根県飯石郡飯南町上来島 1207 TEL0854-76-2025

2F大会議室

★ 第15回GISシンポジウム
～鳥瞰・直感・快感～
ドローン活用
事例報告 10:30
～12:30

★きのこが
いっぱい Part3
in CHU-SAN-KAN 13:00
～15:00

島根県内ではたくさんの
きのこが生産されているんです。



基調講演
「きのこの加工と保存」
講師 (有) 職彩工房たくみ
尾崎 正利 氏

野生きのこのお話第3弾
「山を歩けばきのこがいっぱい」
中山間地域研究センター 富川専門研究員



うまいもの
コーナー

本部
地元のおいしいもの多数販売
野菜、果物の販売もあります。

スタンプラリー受付

いろいろ
体験



同時開催
「ミセス・ロビンフッド
オータムフェス」
(ステージイベント、飲食
販売 他あり)
場所：中山間地域研究
センター隣接地
主催：ミセス・ロビンフッド
フェス実行委員会
(TEL 0854-76-9277)

野遊びカフェ	展示コーナー
木製フライトディスクゲーム	干し草ロールにお絵かき
うまいものコーナー	木工体験教室
構内ぐるっとスタンプラリー	端材もってけコーナー

【1階展示
コーナー】
★島根大学教育
研究紹介
★森林フォト
コンテスト入賞作品

編集者のつぶやき…

記録的な猛暑となった夏もなんとか終わり、朝晩の静けさの中に少しずつ秋を感じることできる時季となりました。ゆっくりと流れる時間の中で、打ち込みたいことに集中できる

絶好の機会ですね！私は秋の夜長を讀書で楽しみたいと思います。これから寒暖差が激しくなりますので、みなさんくれぐれもご自愛ください。(R.A)

次号 特集予告

【中山間地域支援スタッフ】ワークショップを活用した「小さな拠点づくり」
【資源環境科】高性能木質バイオマス加温機の開発

中山間プレス
Webサイト



Chu-San-Kan press チュウサンカンプレス
研究の森から中山間地域を応援します

2016
Autumn
Vol.22

【特集】

木材利用科

色々な木^きづかい
知っていますか？

暮らしに
木を
取り入れよう😊



色々な木づかい 知っていますか？



みなさんが生活している家はどんな家でしょうか？左のイラストのような家？色々な形の家がたくさんありますね。家の材料には**木材**がよく使われています。実はそこにはたくさんの工夫（研究成果）があるのです。その工夫をみなさんとのぞいてみましょう♪

家の中身を覗いてみると…
木材がこんなふうに使われています♪



① 乾かしてこそ木材

山から伐った木は、そのままでは建物に使えません。ある程度「水分を抜くこと（木材乾燥）」で初めて、木は**木材**となります。①のような家の骨組みに使われている材料は全て水がぬけている**木材**です。

— 乾燥の方法は？ —

乾燥の方法には色々ありますが、近年は人工的に高温の蒸気で乾燥する蒸気乾燥が主流になっています。しかし、石油などの化石燃料を使っているところも多く、コストがかかります。

これまでは乾燥に使う熱を化石燃料から供給



これからは**太陽熱**や**ヒートポンプ**も併用で熱を供給

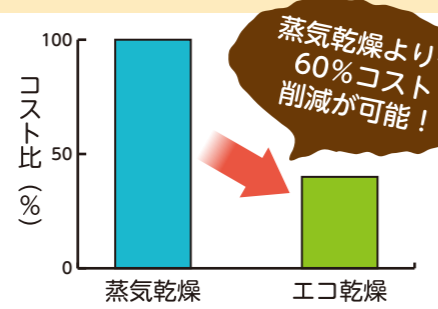


空気中から熱をかき集める技術で、身の回りのエアコンや冷蔵庫にも利用されています

そこで、下の写真のような太陽熱とヒートポンプで乾燥する乾燥機を開発しました。これまでよりもコストを大幅に削減できるようになりました。



開発したエコ乾燥機



従来とのコスト比較

蒸気乾燥よりも60%コスト削減が可能！

③ しまねの木でぬくもりを

住宅の中で、**木材**を実感出来る機会にフローリングがあります。このフローリング用の板が、特に床暖房用だとなかなかの曲者になります。通常のさね加工を行うと右の写真のようにフローリングの間に隙間が出来てしまうからです。これは、周りの環境に合わせて伸びたり縮んだりしてしまう**木材**の性質によるものです。

通常のさね加工



通常のフローリング 隙間が空いている様子

特殊さね加工



特殊さね加工 隙間が空きにくい様子

なめカットがポイント！

そこで、左の写真の特殊さね加工技術を開発し、隙間が空きにくいフローリングが出来るようになりました。右の写真は島根県の木で開発したクロマツフローリングです。

クロマツは実はしまね県の木！



クロマツフローリング

② 簡単には燃えません

「木材は燃える、木造の建物は火災に弱い」というイメージを持っている人は多いと思います。確かに燃えるのですが、私たちもただ指をくわえている訳にはいきません。

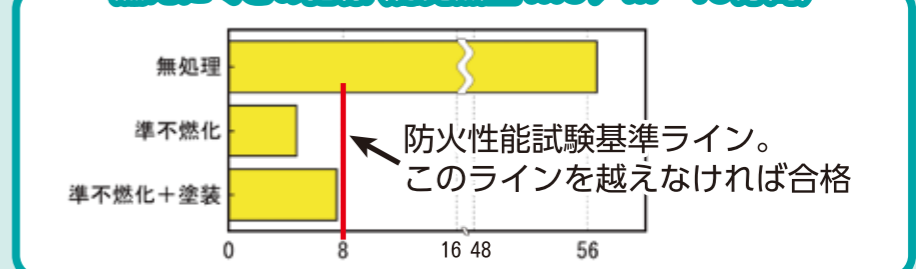
木材は普通燃えるのですが…



同じ時間燃やしても燃えにくい！

上の写真は何もしていない**木材**と薬剤を注入して燃えにくくする、**準不燃処理**を施した**木材**を同じようにガスコンロで燃やしている様子です。処理をすることによってほとんど燃えていないことが分かります。このような**準不燃材料**を開発しました。

燃えにくさの指標 (総発熱量 MJ/m²・10分間)



防火性能試験基準ライン。このラインを越えなければ合格

上のグラフから**10分間**燃えない**準不燃材料**であることを確認しました。また、**準不燃処理**に使われる薬剤もヒトへのパッチテストを行い、人体へ影響ないことが分かっています。主に左の写真のような内装用の**木材**に使われるこの技術。安心して生活できる工夫がここにも隠されています。